

初代萬代橋 ①

完成年月日：明治19（1886）年11月4日
全長：約782m
幅：約7.3m
工事費：約30,644円
設計者：古市公威、岡胤信

■萬代橋架橋以前

新潟市の中心を流れる信濃川。萬代橋ができる以前は付近の川幅が700m以上もあり、信濃川下流域にはひとつも橋がありませんでした。新潟町と沼垂町間の人やモノの往来は、渡し舟が中心でした。しかし、渡し舟は季節や天候によって欠航・転覆事故が多く、信濃川に橋を架けることは両町の人々の悲願でした。

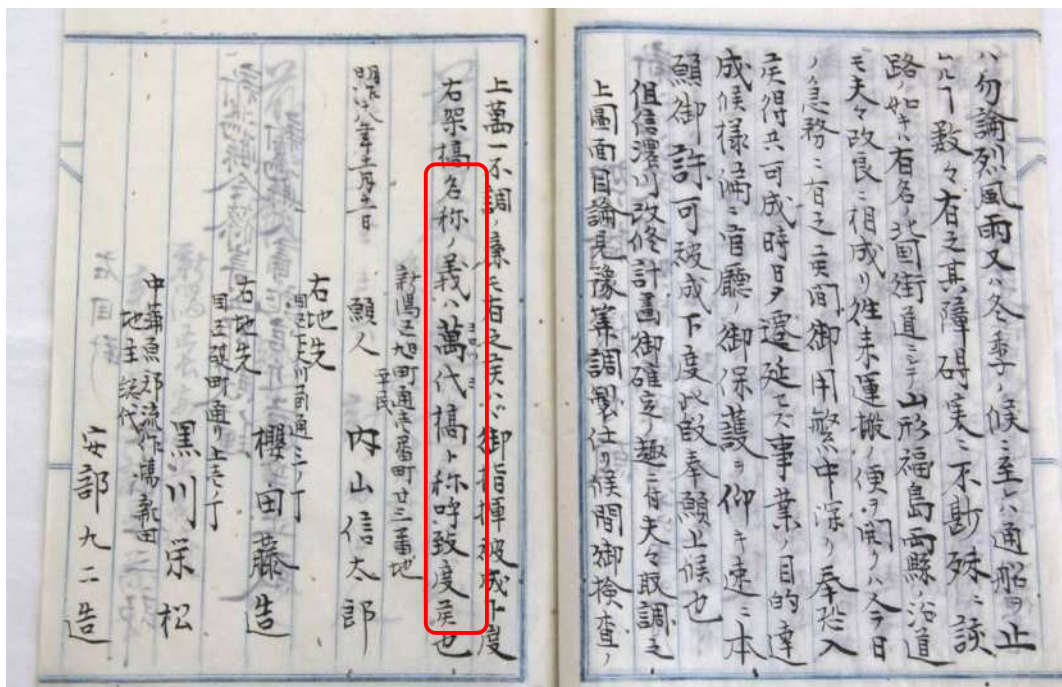
■萬代橋架橋の決定

新潟・沼垂間に橋を架ける計画は度々出されていましたが、国が信濃川整備のための調査を行っていたため、新潟県は許可を出しませんでした。

そのような中、架橋を実現したのは、新潟日日新聞社社長の内山信太郎でした。内山は明治16（1883）年と18（1885）年に出願し、新潟県から架橋を認められました。内山は資金調達に駆け回り、最終的には第四国立銀行頭取を勤めていた八木朋直が萬代橋架橋の出資を後援することになりました。



八木朋直（当館所蔵）



明治18年 内山信太郎の信濃川架橋の願（当館所蔵）

「名称の義は、萬代橋（よろづよばし）と稱呼いたしたく候」と、橋名が記されている。